

# まごころだより

2022年 12月号

## ” ケーキ作り “

時々ですが利用者にケーキを作ってもらいます。いつもは何かお誘いしても、直ぐには応えてもらえない人でも、ケーキ作りは直ぐに立ち上がり、段取りを言わなくても次々と手際よく焼いて行きます。家事の中でも何かを作るのは、かたづけと違って面白いものです。かつては子どもと一緒におしゃべりをして作ったケーキ。それを食べながら色んな話をしました。そんなことを思い出しているのでしょうか。



## “オカリナの演奏で歌をうたう”

職員の中でオカリナを吹ける人がいます。オカリナは素朴な音色で心を和ませてくれます。オカリナという名称は、イタリア語の「ガチョウ」に由来する造語で、「小さなガチョウ」といった意味らしい。演奏するには少し練習が必要ですが、聞いている人には童謡とか唱歌などは特に懐かしく響いてきて心穏やかにしてくれます。



## “子どもと一緒に玉入れ”

玉と言っても新聞紙を丸めてボールにしたもので代用しました。最初はみんな楽しんでくれるかなと思いましたが、これが結構興奮して投げ入れます。風船バレーもそうですが普段は運動しない人達もそのゲームの趣旨を理解されると、一心不乱に取り組まれる。奇声を上たり手を大きく振りかざす事で、気分も晴れ晴れしてスッキリします。体操と違って自然と体が動いて、良い運動になります。



## “紙芝居”

久しぶりの紙芝居です。一人本を読むのもいいのですが、読み聞かせみたいの人に物語を読んでもらうのもいいものです。読み手の表現や抑揚など緩急を付けると、物語はその情景なども浮かんできて、人それぞれの景色や時の流れを感じ取る事ができます。単純な事かもしれませんがいい刺激にもなっています。

## “カード遊び”

同じ模様、同じ色のカードを当てるゲームです。この遊びは子どもも大人も楽しめる遊びです。子供の記憶力には目を見張るものがあります。大人だと、うろ覚えの部分で多聞これではないかと思当をつけてめくるのですが、子供はコレと自信を持って当てる事ができます。記憶は私達にとって大事なことです。動作や言葉を伝えるのに重要な役目を持っています。それが年を重ねていくと少しずつ衰えてしまいます。訓練にもなるように、遊びであっても楽しみながら続けていきたいと思えます。

